

## 【阪神高速淀川左岸線延伸部】

Q 2 8 淀川左岸線延伸部は、なぜ進まないのですか。

A 2 8 .

- 阪神高速道路淀川左岸線は、阪神高速湾岸線から第2京阪道路までの間を結ぶ高速道路で、その延伸部とは、北区豊崎(新御堂筋)から都島区、城東区を經由し、門真市までの約9キロメートルを、地下トンネルの道路で結ぶという計画区間です。
- この淀川左岸線延伸部は、国際物流・広域ネットワークの一環という役割があり、この道路が開通することによって、近隣自治体だけでなく、広く関西の発展に寄与する効果が期待できます。
- しかし、現在の高速道路建設のルールでは、その道路が通る自治体が費用負担をするため、大阪市が大きな負担(約1,300億円程度)をしなければなりません。
- そのため、大阪市は国に対して淀川左岸線延伸部に対する重点投資を要望するとともに、道路利用者からの料金収入による道路建設ができるように阪神都市圏における高速道路等の一体的運営を大阪府など他の自治体と共同で国に提案しています。
- なお、この阪神高速道路淀川左岸線延伸部の例を見ても明らかなように、明治以来、現在に至るまで変えられていない都道府県の枠組みでは、現在の府県域を越えた広域的な行政課題には十分に対応できず、道州制(関西州)の導入が必要不可欠です。
- 関西州が実現した際には、このような広域インフラ整備の費用を関西全体でまかなうことができ、本当に必要なインフラは、よりスピーディーに整備されるようになると考えています。

朱線は、主な更新箇所